

劇団道化座通信

猫からの手紙



一般社団法人 劇団道化座

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4-4-7

TEL/078-803-2458 FAX/078-803-2459

2012年4月号

あたたかな陽差しとそよ風に見守られ、天に向かって若葉がスクスク育っていきます。春を謳歌しているのか、小鳥たちのさえずりもずいぶん賑やかですね。皆さま、つつがなくお過ごしでしょうか？ 私たちが体験した震災から17年、東日本大震災から丸1年が経ちました。何があろうと必ずめぐってくる季節に自然の偉大さを感じる一方、進歩という名の下に急速な変化を求め過ぎてきた私たち人類のあり方を思う昨今です。

劇団道化座は、昨年より一般社団法人として新体制で再スタートしました。政治も経済も社会も不安定で見通しのつかない日本、近隣アジアでは不穏な動きにいがみ合いが絶えず、世界各地で日々新たな戦闘や殺戮が繰り返されています。こんな時代、この荒海をどう進みどう乗り切ればよいのか、弱小劇団道化座は大海に放り出された木の葉のようなものですが、非力ながら演劇をやり続けることで、新たな道を切り開いていきたいと存じます。いつも応援して下さいの皆さまに感謝しつつ……。

さて、5月は道化座【IWAYA】スタジオでの<のいえノイエ>公演です。上演作品は清水邦夫作「楽屋」です。日本で一番多く上演されている作品だそうですよ。出演は女4人。子育てに奮闘中の杉山雅子が久々に本格出演、いつも元気イッパイ姉ちゃん島田知子、芝居大好き娘松澤はゆ、只今フル回転中の馬場晶子です。女性4名の獅子奮迅に乞うご期待!! どうぞ、応援をよろしく願いいたします!!

ところで<のいえノイエ>のことをご存じの方も少なくなってきたのではないのでしょうか。知る人ぞ知る?<のいえノイエ>は、1971年より開始したスタジオ公演のことです。日本の現代作家作品を中心に上演し続け、今回で155回目の公演となります。ドイツ語の“ノイン”(今)と日本語の“家”に由来し、「今」を生きる演劇を目指すものです。近年は地方公演などに出かける機会が多く、公演回数がめっきり減っていましたが、私たちの原点である<のいえノイエ>を大切に元気な演劇を発信していきたいと存じます。

道化座一同、<のいえノイエ>5月公演「楽屋」へのご来場を心よりお待ちしております。

■土曜の午後、道化座スタジオ1階に賑やかに集まった子どもたち。みんなで声を揃えて発声の練習です。それに呼応し北側の岩屋青年会館からも大人クラスの声も聞こえてきます。3月から始めたーみんなわくわくワークショップーは子どもクラスと大人クラスともにみんな元気に頑張ってますよ。特に2月にKIDSプログラムで「スーホの白い馬」に参加していた子どもたちの成長は著しく、みんな積極的にになりましたよ!! お芝居で子どもたちの成長に役立つなんて、ホント嬉しいですね。7月に行うスタジオでの発表が楽しみです。みんな、ガンバレ～!

■あ、そうそう、そうなんです。お知らせしなくちゃいけない重大ニュース!! 5月本番に間に合うよう、スタジオの和式トイレを洋式に変更中。もちろん、ご来場下さる皆さまのために! 芝居共々、新トイレにもご期待を。(ナンノコッチャラ?)

■2月「スーホの白い馬」公演は、KIDSプログラムの子もたちも加わって活力ある舞台となりました。

可愛い絵とともに「★5つ」の満点をたくさん戴きました。大人のお客様からも「なつかしさとあたたかさと命の重みを感じた。」「臨場感があってよかった。」「心があたたかくなった。」「KIDSとのジョイントがよかった。」等の感想を頂戴しました。

ありがとうございます!!

■道化座は久々にスタジオでの大人の作品上演に意欲を燃やしています。芝居の稽古だけでなく、舞台ステージ(平たい台や箱を組み合わせて作っています)や幕の補修、美術パトンの増設などスタジオ整備にも力を入れています。観劇の際にちょっと気にして頂ければ嬉しいかな～と思います。

今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます!

一般社団法人劇団道化座

2011年9月1日設立

代表理事 渡邊晶子(馬場晶子)
理事 渡邊勝彦(須永克彦)
理事 島田知子
監事 浅川恭徳

■道化座ホームページに
ぜひ、アクセスを!

<http://www.kcc.zaq.ne.jp/dougeza>

